



## エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

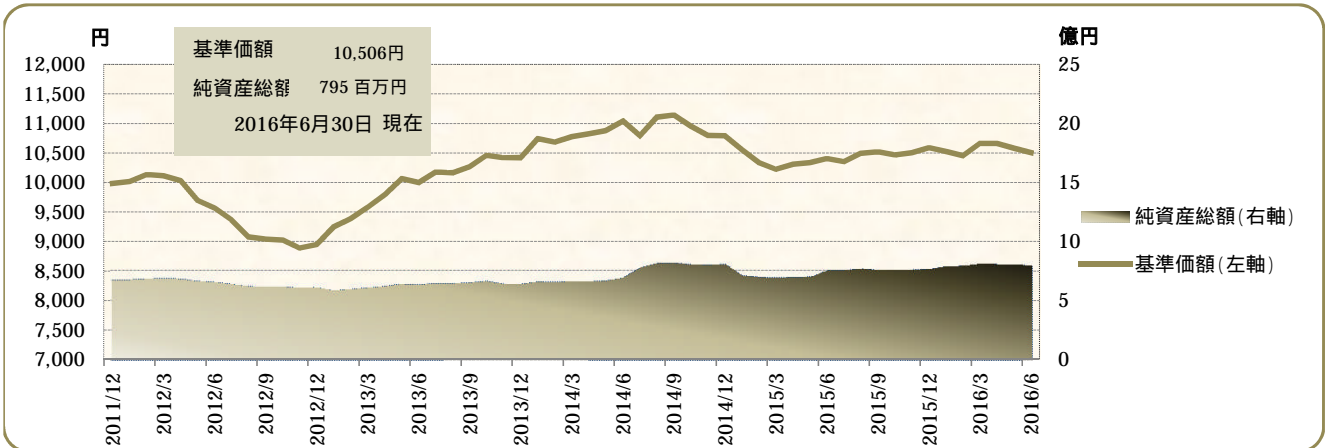
ケイマン諸島籍オープン・エンド契約型外国投資信託(追加型)

作成基準日

2016年6月30日

## 基準価額騰落率推移 (諸費用控除後, 税引前)

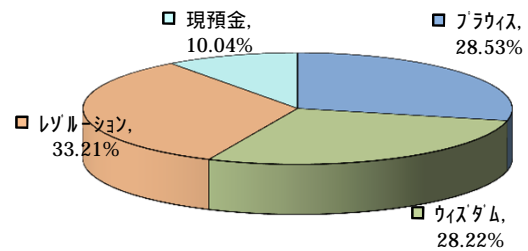
2016	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
騰落率	-0.65%	-0.67%	2.02%	-0.04%	-0.75%	-0.70%							-0.82%
2015	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
騰落率	-2.19%	-2.07%	-1.13%	0.85%	0.28%	0.68%	-0.50%	1.31%	0.29%	-0.49%	0.32%	0.87%	-1.85%
2014	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
騰落率	3.05%	-0.55%	0.89%	0.41%	0.55%	1.48%	-2.27%	2.94%	0.34%	-1.73%	-1.44%	-0.02%	3.54%



## 運用実績

設定日:	2011年12月19日	
決算日:	毎年11月30日	
当初設定元本:	673百万円	
基準日:	2016年6月30日	
基準価額:	10,506円	対前月比 -74円
純資産総額:	795百万円	対前月比 -3.6百万円
設定来高値:	11,146円	
設定来安値:	8,888円	
期間別	3ヶ月	-1.48%
基準価額騰落率	6ヶ月	-0.82%
設定来	ファンド	5.06%
基準価額騰落率	TOPIX	72.18%
	日経平均	85.39%

## 投資対象ファンドへの資産配分 (2016年6月30日現在)



運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。

## 投資対象ファンドの基準価額騰落率推移 (諸費用控除後, 税引前)

2016	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
プライム	-0.72%	-0.39%	1.59%	0.73%	-1.70%	-2.76%							-3.27%
ウィズダム	-0.47%	-2.84%	1.22%	0.50%	-1.58%	-1.30%							-4.45%
レゾリューション	0.02%	1.80%	4.82%	-0.39%	1.60%	2.29%							10.48%
2015	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
プライム	-2.91%	0.43%	-0.74%	1.81%	0.84%	-0.27%	0.22%	0.84%	0.48%	0.83%	0.19%	0.15%	1.82%
ウィズダム	-1.38%	-1.99%	-0.24%	0.27%	0.85%	1.82%	0.96%	1.39%	-0.95%	0.00%	0.92%	0.54%	2.14%
レゾリューション	-1.92%	-4.43%	-1.60%	1.93%	0.57%	2.72%	-1.63%	3.38%	2.61%	-1.26%	1.14%	3.19%	4.44%
2014	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
プライム	2.24%	-0.37%	0.41%	1.08%	0.88%	2.08%	-0.16%	-0.32%	1.01%	-0.04%	-0.24%	-1.41%	5.22%
ウィズダム	0.94%	-0.06%	0.36%	0.81%	0.50%	1.06%	-0.30%	1.17%	0.46%	-0.04%	0.03%	0.33%	5.38%
レゾリューション	6.74%	-0.06%	2.94%	0.52%	1.36%	2.63%	-2.53%	5.02%	1.61%	-3.52%	-0.75%	2.09%	16.76%

上記騰落率は投資対象ファンドの費用控除後の騰落率です。エピック・ヘッジファンド・セレクション1(以下「HFS」という)にかかるコスト等が含まれないため、投資対象ファンドの騰落率を資産配分結果で加重平均した場合、HFSの基準価額騰落率とは一致いたしません。



## エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

## 相場動向

6月の株式相場は、日経平均で9.63%下落の15,575.92円、TOPIXで9.71%下落の1,245.82ptとなりました。グローバルでリスクオフの動きが広がり大きく下落しました。

上旬は、米国雇用統計の悪化を受けてFRBの早期利上げ観測が後退しドル安・円高が急進、日本株も大きく下落しました。為替に付られて外需株が大きく売られ、また金利が低下したことから金融株も売られました。

中旬は、英国のEU離脱懸念や日銀金融政策決定会合における現状維持などを受けてさらに下落する展開となりました。

下旬は、英国のEU離脱決定を受けてグローバルで急速なリスクオフの動きが広がり下落しました。24日に英国のEU離脱が決定的となると、ドル円は一時99円ちょうどまでドル安・円高となり、日経平均も一時4カ月ぶりに15,000円を割り込み、下落幅は歴代8位となるほどの急落となりました。その後月末にかけて急落した反動から買戻しは入ったものの下げを埋めるには至りませんでした。

需給面では、海外投資家が2カ月連続で売り越しとなりました。一方、個人投資家や信託銀行など国内投資家が買い越しとなりました。

セクター別騰落率では、全セクターがマイナスとなりました。医薬品、小売り、食品、陸運などのディフェンシブセクターが上位となり、証券・商品先物取引、保険、その他金融、銀行といった金融

セクターが下位となりました。

東証一部の売買代金は1日当たり2.07兆円と、5月と同程度の薄商いでした。

新興市場の騰落率は、JASDAQインデックスが4.58%下落、東証マザーズ指数が11.81%の下落となりました。

ファクター面では、先月に引き続きモメンタムファクターがプラス、バリュファクターがマイナスとなりました。

## 組入ファンドの運用状況と今後の市況見通し及び投資戦略

## 【ブラウイス】

## &lt;ファンド運用状況&gt;

6月の運用成績はJPYクラスで-2.76%となりました。月間を通してポジション解消の流れが継続し、割高株が買われ、割安株が売られる展開となりました。また、イギリスのEU離脱後にこの流れが顕著となり、ディフェンシブセクター内での株価スプレッドが拡大したことで、パフォーマンスが落ち込むこととなりました。

セクター別の損益では、食品、電力・ガス、陸運、小売りセクターでマイナスとなり、機械、輸送用機器セクターでプラスとなりました。

## &lt;今後の市況見通し及び投資戦略&gt;

7月の株式市場は引き続き上値の重い相場展開を想定します。日銀の追加緩和や政府の経済対策に対する期待はありますが、円高傾向の継続により輸出関連銘柄の業績不透明感は強まっており、上値も限定的と考えます。

今後の運用方針は、個別企業の業績・需給動向や国内外のマクロ動向を勘案し、相対的な割高・割安を適切に判断しながら、マーケットの上下に左右されない安定した収益の獲得を目指します。

## 【ウィズダム】

## &lt;ファンド運用状況&gt;

6月の運用成績はJPY-Fクラスで-1.30%でした。英国のEU離脱に関する国民投票前にポジションを解消するフローが見られ、またEU離脱を受けて更にこの流れが加速しました。こうした中、割安株が相対的にアンダーパフォーマンス、割高株が相対的にアウトパフォーマンスしたことで、ファンダメンタルズが機能しづらくマイナスの収益となりました。

個別銘柄レベルでは、ロングポジションでDAC(4281)、キュービー(2809)、ショートポジションでオークマ(6103)、MS&AD(8725)がプラス収益に寄与しました。

## &lt;今後の市況見通し及び投資戦略&gt;

7月の株式市場は、日銀の金融政策や政府の経済対策を睨みながら一進一退の推移を予想します。今月から始まる国内企業の第一四半期決算は、円高の進行により大幅な減益が予想されますが、現在の株価はある程度織り込まれた水準であり、英国のEU離脱の混乱から沈静化の方向へ向かうと考えられます。

今後の投資戦略につきましては、クオンツモデルとトップアナリストによる投資評価の双方を活用し、銘柄選択により安定的な収益を目指します。

## 【レゾリューション】

## &lt;ファンド運用状況&gt;

小型株は月初来より高値圏にありましたが、23日英国投票に向けて大きく売られ、マザーズを中心とする新興銘柄も売られました。BREXIT後は、急激な円高進行で大型株が売られる中、ポートフォリオの小型株および新興株の下落は限定的で月末に向けて値を戻し、パフォーマンスの確保が図れました。

ファクターで見ると、特にBREXIT以降、極端なローリスク優位、バリュ劣位となりましたが、ファンド全体としてバリュではあるものの、強い個別銘柄要因を持った一部のロングとハイバリュレーション新興銘柄のショートがプラス寄与しました。

一方、小型・新興銘柄が総じて下落する中、外国為替市場の影響を受けにくい内需株も下落し、ロングの一部銘柄がマイナス寄与となりました。小型および新興株も、投資家の特定銘柄選好の傾向が強いため、内需株であっても放置される銘柄については下落も見られ、引き続き難しい相場局面にあると考えます。

## &lt;今後の市況見通し及び投資戦略&gt;

BREXITによる円高デメリットの影響に加え、株式市場に対するリスク許容度の低下影響が、小型株市場の見通しを難しくしています。一方で、バリュレーションの低下が回避可能であれば、引き続き内需好業績銘柄が有望となります。

当面は、景気敏感のリバウンドが狙いづらい状況になったため、ファンドの大きなキャラクター変更を予定しないものの、1Q決算に向け、短期的な株価変動にチャンスを見出したいと考えます。

個別性のある小型株のロング部分で引き続きパフォーマンスの確保を狙い、新たな期待銘柄への入替を進めていきます。

業績モメンタムの変化に留意し、継続した業績拡大可能な割安銘柄の組入と、成長力や競争力といった中期的な視点により割安銘柄と割高銘柄の選別を進めます。

## 投資信託の主な関係法人

管理会社:	インターナショナル・マネジメン・サービス・リミテッド
信託会社:	G.A.S.(ケイマン)リミテッド
管理事務代行会社:	エスエムティー・ファンド・サービス(アイルランド)リミテッド
保管銀行:	スミトモ・ミツイ・トラスト(ユークイ)リミテッド
投資運用会社:	エピック・パートナーズ・インベストメンツ株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第432号 加入協会:一般社団法人 日本投資顧問業協会
代行協会員・日本における販売会社:	ヘッジファンド証券株式会社 <a href="http://hedgefund-sec.com/">http://hedgefund-sec.com/</a> 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2580号 加入協会:日本証券業協会



# エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

金融商品取引法に基づく表示

## 商号等

エピック・パートナーズ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第432号

## 当社が加入する協会等について

一般社団法人 日本投資顧問業協会 加入 第011-01395号

## ご留意事項

当資料は投資信託の運用状況をお知らせするためにエピック・パートナーズ・インベストメンツが作成した資料であり、法令に基づく開示資料ではありません。  
投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をお受け取りになり、その内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客様ご自身が投資に関してご判断ください。

当資料は特定の有価証券等の取得の申込み、投資顧問契約、投資一任契約の勧誘等を目的としたものではありません。  
当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。

当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。  
投資信託は、株式等を投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。  
運用管理費用、監査費用、その他の諸経費が、投資信託の保有期間に応じてかかりますが、事前にその上限を示すことができません。また、有価証券の売買等に係る手数料、租税等が発生しますが、運用の状況により変動しますので事前にその上限を示すことができません。

**当資料は、投資運用会社であるエピック・パートナーズ・インベストメンツが投資信託の運用状況をお知らせするために作成した資料であり、法令に基づく開示資料ではありません。**

**投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をお受け取りになり、その内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客様ご自身が投資に関してご判断ください。**